

第3学年 音楽科学習指導案（略案）

○組 計 39人
指導者 ○○ ○○

- 1 題材 ドレミで歌おう
 教材 音楽遊び「ドレミ遊び」
 「ドレミで歌おう」 小原光一 作詞 作曲者不明（本時主教材）
 「海風きって」 高木あき子 作詞 石桁冬樹 作曲

2 本時（3／5）

(1) 目標

- ア 指くぐり・指またぎの仕方を知り、旋律の感じを生かして鍵盤ハーモニカで演奏することができる。【知識及び技能】
 イ 階名視奏に関心をもち、指使いや旋律の感じを生かすことに気を付けて鍵盤ハーモニカを演奏する活動に進んで取り組むことができる。【学びに向かう力、人間性等】

(2) 本時の展開に当たって

子供たちが、階名唱のよさを感じ取ることができるようにするために、階名唱を基にして鍵盤ハーモニカを演奏させるようにする。また、適切な息使いやタンギングにも意識を向けることができるように、比較鑑賞の活動を取り入れるようにする。

(3) 実際

過程	主な学習活動	時間	教師の具体的な働きかけ
課題把握	1 「ドレミで歌おう」を歌詞唱する。 2 「ドレミで歌おう」の範奏を聴き、本時の学習について話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">楽しく歌っているように、けんばんハーモニカをふこう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ やさしい感じがするよ。 ・ 歌詞の「楽しく歌おう」から、楽しい感じが伝わってくる。 	(分) ↑ 10 ↓	○ 歌詞の内容を意識付けるために、1番を歌詞唱、2番を階名唱で歌わせるようにする。 ○ 歌詞の内容を基にした鍵盤ハーモニカの演奏の工夫に気付かせるために、「どんなふき方をしているかな」や、「歌詞にはどんなことが書かれているかな」などと問いかけるようにする。
課題追求 表現の工夫	3 鍵盤ハーモニカで1回演奏し、指使いについて話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ この指使いだと、やさしい感じがしないよ。 ・ この指使いだと、もっとかんたんにできるよ。 4 鍵盤ハーモニカで演奏する。 (1) 指使いを練習する。 (2) グループで分担奏する。 (3) 音の出し方について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 息が弱すぎると、楽しい感じが出ないよ。 ・ 楽しい感じが出るようにタンギングをしよう。 	↑ 30 ↓	○ 指使いが違うことにより音の切れ方や弾きやすさが違うことに気付かせるために、指くぐりや指またぎをしない範奏を比較鑑賞させるようにする。 ○ 息使いやタンギングの仕方を工夫することでよりよい表現にしていくために、息が多すぎたり少なすぎたりする奏法や、タンギングをしなかったりする奏法を比較鑑賞させ、それを基に音の出し方を話し合う活動を取り入れるようにする。
相互発表・鑑賞	5 相互発表・鑑賞をする。	↓	○ 相互発表・鑑賞の際は、技能面の個人差に対応するために、全体を通した発表の方法と、分担奏による発表の方法と選択できるようにする。
まとめ	6 本時の学習のまとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 指使いがうまくできるように何回も練習しました。 ・ ○○さんが楽しい感じで演奏することができていました。 	↑ 5 ↓	○ 本時の学習を振り返ることができるようにするために、わかったことやできるようになったことを発表させるようにする。